

A stylized illustration of a family. In the center, a red rectangular sign with a black border contains the Japanese text '佐藤さん一家' (Sato-san Ichika) written vertically in black. The background features several faces: a woman with brown hair and closed eyes at the top left, a man with a black spiky beard and glasses at the bottom left, and a woman with blonde hair and eyes at the top right and bottom right. The style is simple with bold black outlines and flat colors.

佐藤さん一家

お父さん

母さんが作った弁当を鞆に入れるのが、朝の俺の仕事だ。
パート主婦の母さんは、俺にゴミ袋一つ出させようとしな。点数稼ぎじゃないが世論に従って、ゴミくらい夫に出させていいんだぞ、と言えは私の仕事を奪わないで、と怒られる。

駅までバスで言うと停留所2つ。気付けば存在感を増していた腹に気付いてからは歩くようになった。

7時43分発上り。これ以上だと乗り換えで待つ事になり、これ以下だと会社まで走らねばならない。7時40分に改札を抜け、ホームに滑り込むのはドアが開くのと同時。今日も予定通りだ。

俺の会社は、技術者である社員を派遣して、取引先で契約案件の終了まで働かせるシステムになっている。

本社への電車は混み合う路線だが、今の派遣先へは通勤ラッシュと逆の流れになるため空いている。

通勤時間は少々長いが、混雑する車内を思えば天国だ。車内はガラガラで確実に座る事ができる。

細かい事を気にするな、男はでかくあれ。

それが父親の教育であり、俺はその意思に沿って生きてきた自負がある。

今の世の中、心身ともに線の細い男が流行ではあるが、そんなものに乗る気は全く無い。だから、俺は気にしない。

ガラガラの車内がなぜか、窓ガラスの反射で見ると満員電車になっている事など。

そこに映るいないはずのサラリーマンや、数人の学生が全員同じような腐った魚に似た眼をしている事など。

ただ、悲しいと思うのは、行きの電車でしか彼ら、彼女らを見ないと言う事だ。

型の古いスーツや今は見ない着こなしの制服。何年の間、通勤電車に乗っているのだろう。

延々と、行きたくも無い会社や学校にそれでも行かねばならぬと電車に乗っているのか。

安心して帰宅するはずの帰りの電車で、皆を見た事は無い。

何とも切ない。

俺はその人達と目を合わせないように、眠ったふりをして下を向く。

腐る前、死んだ魚のような眼をしている自分に気付かないためにも。

お母さん

卵が無いとお弁当の色味が無くなって地味になるから、つい毎日入れちゃうのよね、主婦の会話に対して

「うちのお弁当、毎日卵焼き入ってるなあ。手抜きなんですかね」

パート先での男性社員の言葉。

これがまたニヤニヤ顔で、いかにも「俺ママ大好きなんですけどお、一応何か悪く言っとかないとマザコン扱いされるんでしょお？」ってのが透けて見える気持ち悪さ。

それが高校までならまだ判るけど、40近い今もママにお弁当詰めてもらってんじゃない。何が手抜きだ。

そんなんだからいつまでも結婚できないんでしょーが。独立しろよ！

と、というような意見をパート主婦同士、眼だけで語りあう。

なんだろう、この「おばちゃん同士」だからこそ生まれる一体感。これが得られるなら私、パートのおばちゃんに居る事が世界一の幸せに感じられるわ。

主婦のお弁当なんて旦那や子供の弁当の残りや夕飯の残りの詰め合わせ。

家族には彩りを！とか栄養を！とか考えるけど、自分のお弁当なんか胃とお弁当箱が埋まればいいのよね。

時間が無ければ塩むすびを作って、後は社割でお惣菜を一品買えば十分。

それにしても、食べなくても太るんだもの。歳を取るって不思議なもんだわ。

不思議と言えば、先月入ってきた新人パートよ。

まだ若いんだけど子供がいるから稼がなきゃって頑張ってるんだけど、妙にアラフォーマザコン男性社員を見つめてるのよね。

熱い視線、って言うのかしら。

小太りの薄毛で、人当たりは良いけどそれしか良い所の無い男よ？

何がそんなに気になるのか、まさかラブなの!?ってパート仲間の間で話題になって。

気になるじゃない、そんなの。私、思い切って聞いてみたのよね。

「何、あの人の事気になっちゃったの？」

って。そしたら新人さん、切実そうな顔で私を見て頷くじゃない。

エー!?って。

「どこが良いの、あの人の？」

って。

そしたら不思議そうな顔をした後でブンブン頭を振って、違います誤解しないでください！って言うのね。

「あの人の後ろに、歳を取った女の人がかくっついてるんです」

って言うのよ。

「私、そういうの見える方で……信じてもらえなくても仕方ないんですけど」

って言うの。

普通そんなの嘘か冗談だと思うじゃない？でも面白いからさ、どんなのが見えるのか聞いてみたワケ。

そうしたら、

「白髪でパーマがかかった肩までの髪と、古臭い大きな眼鏡と、右頬に100円位のシミがありますね」

って言うじゃない。いやあ、驚いたわよ。思わず若ぶって、マジで!?って叫んじゃった。

その人さ、一度だけ買い物に来た所を見た事ある、マザコンの母親とそっくりなのよ。

ママの方も息子の事大好きなんでしょうね。来てた時も凄かったのよ、腕掴んで顔近付けて、恋人同士みたいに笑いあってさ。血の繋がったおっさんとば一さんが。

イキリヨウってヤツ？憑いて来ちゃってるのねえ。付いて来てるだけに。

あら、上手い事言った？そうでもないか、あはは。

で、おばちゃんのネットワークは光ファイバーより早い訳で、あっという間にパートの間では母子相思相愛物語として定着したわ。

私なんかは気持ち悪い親子ねえくらいなもんだけど、息子を持つパートの中には「お母さんの気持ちも解る！」って変わり種が出て来ちゃって。

マザコン男性社員、今ちょっとばかり人気上昇中。

新人さん言ってたわ。

「私の言う事がこんなに普通に受け入れられた事、今まで無いです」

って、ちょっと嬉しそうに。

霊より靈感より恐るべきは、おばちゃんの適応能力って事かしら。

最高よ、おばちゃんは。

そう言ったら新人さん、にっこり。この子は長く働いてくれそうだわ。

進路を決めろって簡単に言うけど、そんな単純なもんじゃないだろ？
例えば俺が、高卒で就職は難しいって思って大学に行きたいと思ったとして。
進学するだけの頭も無ければ進学させてもらえるだけの経済的余裕も無いわけ。
じゃあ就職で、ってだから就職先無いっつーの！っていう無限ループよ。

その無限ループの真ん中に、唐突に進路希望のB5判の紙が回ってくる訳だ。
いやいや、そんな事言われても困りまーすって、言ったら誰かが道を示してくれるならそんな
楽な事は無いんだけど。

んなこたあ無い。

「じゃあお前は今からイチローを目指して素振りを始めたまえ」
って言われても素振りしないだろうし。

黒板には何やら数式が書かれていて、それはもう俺くらいの間様から見れば図画に等しい。
ああ、この数字から美しい絵画を作り出すような才能が俺にあればなあ。そしたらもう、一生絵
を描いて暮らすね。

服にも装飾品にも旅行にも機械にも興味無いし、キャンバスと絵の具があれば十分なんだろ？
食も細いしさ。

ああでも、税金とか保険とか年金とかあんのかな。描いてるだけじゃダメか。

アホな事言ってる自覚はあるんだけど。
でもさー。アホな事でも言ってなきゃ、ショウライヘノバクセントシタフアンは無くならない訳
ですよー。
まあ、アホな事言えば無くなるかって言ったらそんな事無いんだけどさ。

最前列の窓際の席ってのは良いね。
実は一番教師の視線から外れるんだなあ。窓の外を見ていても気付かれた事ないもん。
俺の席からは、体育館の屋根が見えるんだよね。スズメだのカラスだのオナガだの、大して珍し
くも無い鳥が代わる代わる飛んでくる。

でも今日は、変わったもんがいた。
ひと、だ。

体育館の屋根の上って登れんのかな？
たしか、キャットウォークの辺りにハシゴがあったけど、開かないようになってるんじゃないか
かったっけ。
制服を着ているからうちの生徒だろう。ひよろつとした男だ。

半円になった屋根を器用に歩いて端っこに立った。

いやいや、ヤバいんじゃないの？風もあるし、危なくね？

教師や周りのクラスメートを見たけど、誰も気にしてない。声をかけるべきか悩んでると、男がこっちを見た。

遠いから顔なんて見えないはずなのに、笑ったな、と思った。

確実に、俺を見てた。

で、跳んだ。

「おわあああああああ!!!」

俺の叫び声に授業は中断、教師はえらく驚いて「なんだ!？」と叫んだ。

震えながら体育館から人が落ちたと伝えると、教室中が大騒ぎになった。教師は顔面蒼白になり、皆に黙るように言って俺の腕を引いた。

廊下に出されて、そいつは本当に学生だったか、どんな奴だったかと聞かれた。

ガチガチ言う歯をなんとかごまかしながら、制服を着た男でこっちを見て笑ったと言うと、教師は目をつぶって頭を振った。

「それは、この世のものじゃないんだ。もう何度も飛び降りてる。俺が学生の頃からだ」
そう続けて。

その時決めたよね。

今俺の手元にある進路希望用紙には

「第一希望 生きる」

って書いてある。完璧。

生理が

来ない。